



横断領域的表現の研究

[キーワード:メディア、アート、GIS、考古学、AR、VR]

准教授 河原崎貴光

〈研究の概要〉メディアアートの手法を用いた横断領域的表現の研究を進めている。具体的には以下の2点を共同研究により制作、研究している。・3Dデータ化した遺構・遺物の記録と新たな共有手法の開拓。徳島市三谷遺跡の発掘調査現場と、徳島県海陽町大里古墳の発掘調査現場にて、遺構・遺物の記録に際して、従来型のアナログ筆記による実測とともに、多方向から撮影した画像を基に3次元情報として記録。AR、VRの手法で論文資料や教育資料としての活用方法を研究している。・測量データを基に作成した都市模型に津波浸水想定ハザードマップを映し、津波の高さ予測を実感するインスタレーションの作成。建物形状のGISポリゴンデータに航空レーザー測量(国土地理院所蔵)による高さ情報を加え、GISアプリケーションにより3次元データを作成、粉末積層プリンターで出力。出力した立体模型に色面化した津波浸水想定ハザードマップ(徳島県所蔵)を投影し、USBマイクロスコープを使用して模型の任意の場所を映し出すと共に、津波浸水想定ハザードマップの色域がマッピングされた模型の映像を解析し、捉えた任意の場所の津波の高さ予測映像を実物大で投射。立体ハザードマップインスタレーションとした。

〈主要研究業績〉

主な展覧会

- ・「KOMMEN SIE NACH HAUSE」ケルン、ベルリン、ノルウェー、アムステルダム、アレグレテ、シカゴ、ニューヨーク、2000-2017年
- ・「Butterfly Hug」アートラボあいち、2013年
- ・「Small Token, between little stories and public sphere」Liverpool Street Studios gallery(アデレード)、2008年
- ・「日中国際交流展」北京中央美術学院、2006年
- ・「この資料は正確ですか?」文化庁メディア芸術祭推薦作品、2004年
- ・「水の意識」現代美術館・名古屋、名古屋港水族館、2002年

専門分野 : メディアアート

E-mail: kawarasaki@tokushima-u.ac.jp

Tel : 088-656-7162

詳細情報 : <http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/person/xxxxx/profile-ja.html>